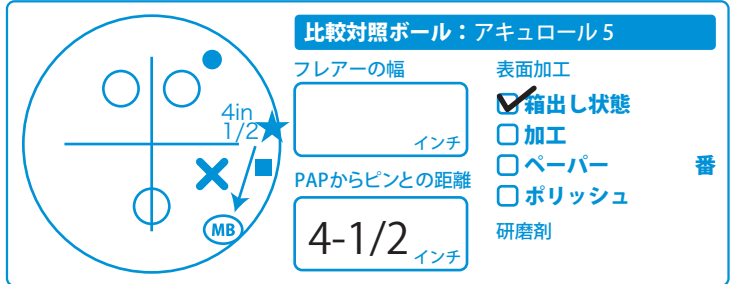
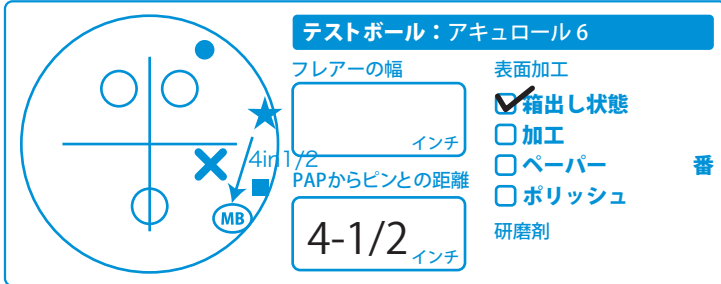


# ボールの特性レポート

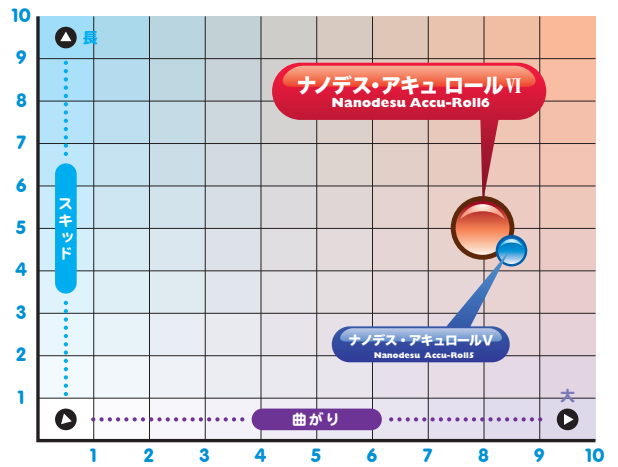
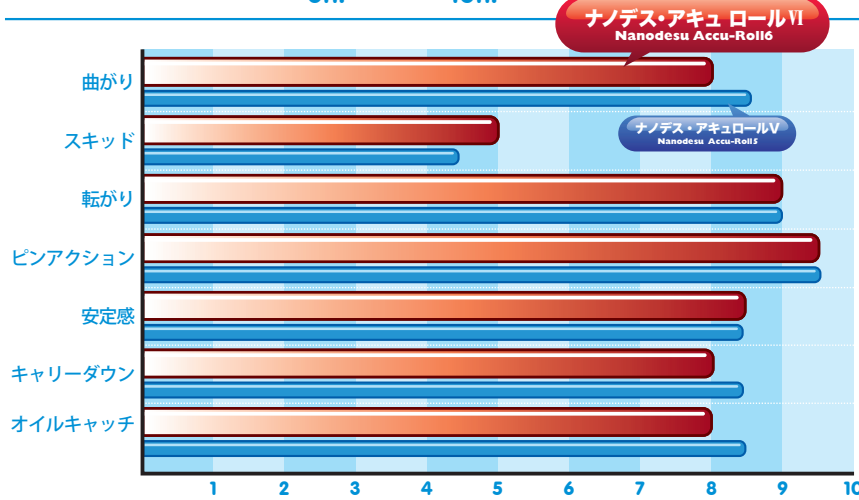
## BALL REPORT



ボール名 <b>ナノデス アクュロールVI</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.462</b>	△RG <b>0.056</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

日本唯一のブランド日本EBONITE社が作成する匠製法ナノデスシリーズ。米国を含めたどのブランドよりも一つの製品を作成・決定するまでにサンプルにサンプルを重ね発売する製法は、日本特有の気質、こだわりと妥協とは一切無縁のものと言えます。言い換えればナノデスシリーズが多くのユーザーに受け入れられることもトーナメントで活躍できるボールであることも必然であるとも言えるでしょう。今回のAccu-Roll 6もサンプルに見える作りながらTechnologyが詰まったボールに仕上がりました。それはCobaltblue Pearl, Blue Pearl, Turquoise Pearlと3種3色のPearl素材を使用して、スキッド、オイルキャッチ、ドライゾーンでのグリップのバランスを整えるよう調合添加したことです。Pearl素材が主というスキッド重視のスペックになる傾向ではありますが、3種類のPearlを調合されるとそれぞれのPearlにコンセプトとしての”意図”を組み込めるのが国内でボールを作る利点でもあります。手前からキャッチするPearlもあればスキッド重視のPearlもあります。そこから今回動力ユニットで組み込んだ新型Coreをあてはめ、Cover StockでPerformanceを開発コンセプトに近づけていきます。どこをどう調整しても要は”やはりナノデスは良い!”と感じて頂けるものが絶対条件。如何にそれぞれに特徴をだし、Skid, Hook, Rollでナノデスを演出するか。今回のAccu-Roll 6もMidエリアから後半の動きに重点をおき、Cover StockからCoreの数値までを調整しています。角がでるリアクションというイメージよりは俊敏ではありますが、柔らかくキレルイメージを持たれるでしょう。ナノデス必須の衝撃吸収システムも搭載していますので、特有の柔らかい”飛び”も見逃すことはできません。歴代からのナノデスファンの方、また新たにナノデスを試そうと思っている方はこのRoll 6をお試しく下さい。幅広い領域で性能を発揮してくれるはずですよ。

### 特記事項

**Three Pearl(3つのパール)でSkid, Hook, RollのTractionをコントロールしています。柔らかくキレ、水平に起こるミキシングのピンアクションは絶品そのものです。**